

報告 1 大会準備のための感染症対策緊急対応チームについて

会長 岡本仁宏

大会の開催の可否、また代替措置の問題などについては、実行委員会と理事会・執行部との共同が必要になる。大会では総会も予定されており、理事候補者選挙日程も関係しており、総会での議決が必要な事項があり、研究大会としてのみの位置づけでは決定できない事項も存在している。このため、下記のチームを組織した。

実行委員会委員長・事務局長 2 人

執行部（会長・副会長・事務局長） 3 人

関係委員会委員長（組織運営、大会運営、学会賞、災害等対応） 4 人

今後必要に応じて、選挙管理委員長、及びネット開催の可能性について専門性を持つ会員（できれば理事）を加えることを検討し、粉川一郎理事を追加した。

実行委員会、実行部や他の委員会との間の調整のためのチームであって、従来の組織体の権限を重複させたりするものではない。情報流通をよくし、それぞれの正規の検討・実行・決定機関での審議の前提を作るため、特に、実行委員会と執行部との間の共有の情報を確認し、共通認識を作るため、という対策会議の位置づけである。

恒常化するものではなく、現第 10 期の理事会の任期（予定では駒澤大会の総会まで）中とするが、その後は、新理事会・新執行部の判断による。

チーム形成後、大会の開催方法等について検討が進められている。